
2011年3月期 第3四半期 決算説明資料

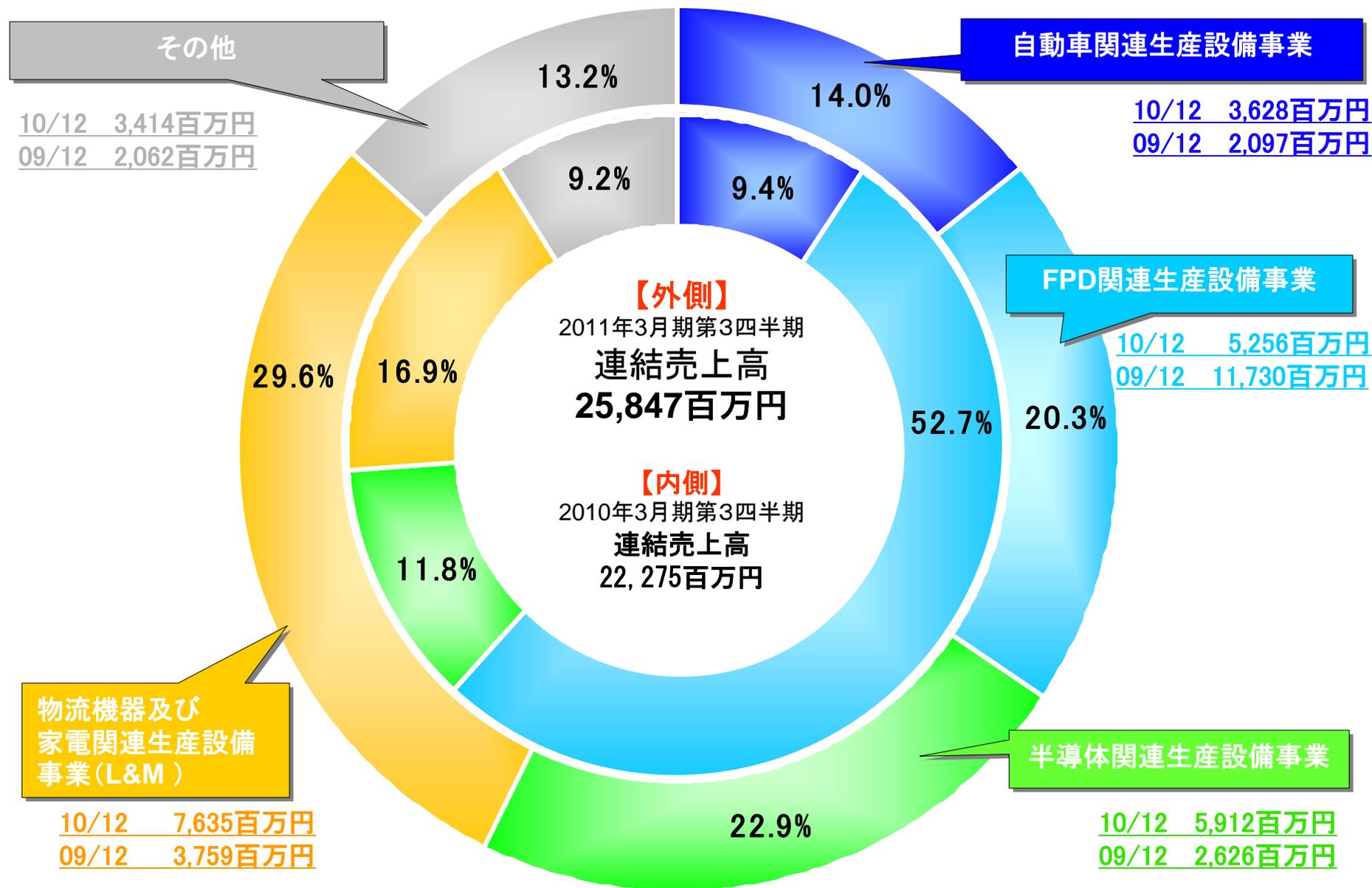
平田機工株式会社 2011.02.10



I 決算状況

2011年3月期 第3四半期（2010年12月31日）

I 決算状況 事業部門別売上高構成比



I 決算状況 決算概要

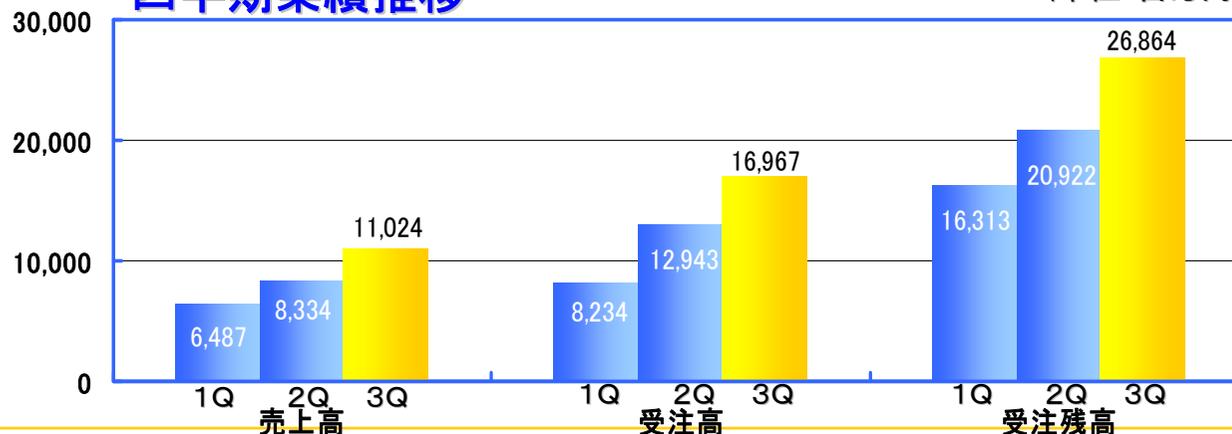
決算概要

- 売上高は、自動車関連及び半導体関連、家電・タイヤ関連が堅調に推移し増収。
- 営業利益、経常利益、四半期純利益は、増収に加え一層のコスト低減により黒字化。
- 受注高、受注残高は、各事業分野の市場回復と大型案件の受注確保により大幅に増加。
- 堅調な業績回復により期末業績予想を上方修正。加えて期末配当予想を10円から15円に修正。(単位:百万円)

連結決算	2010年3月期	2011年3月期	対前年 同期比 増減率	2010年3月期	2011年3月期	対前年比 増減率
	第3四半期 累計業績	第3四半期 累計業績		通期 累計業績	通期 予想	
売上高	22,275	25,847	+16.0%	33,455	43,000	+28.5%
営業利益	△599	654	—	364	1,000	+174.5%
経常利益	△757	568	—	180	800	+342.0%
四半期純利益	△233	463	—	43	600	—
受注高	14,294	38,194	+167.2%	27,651		
受注残高	12,340	26,864	+117.7%	14,517		

四半期業績推移

(単位:百万円)



期末配当予想

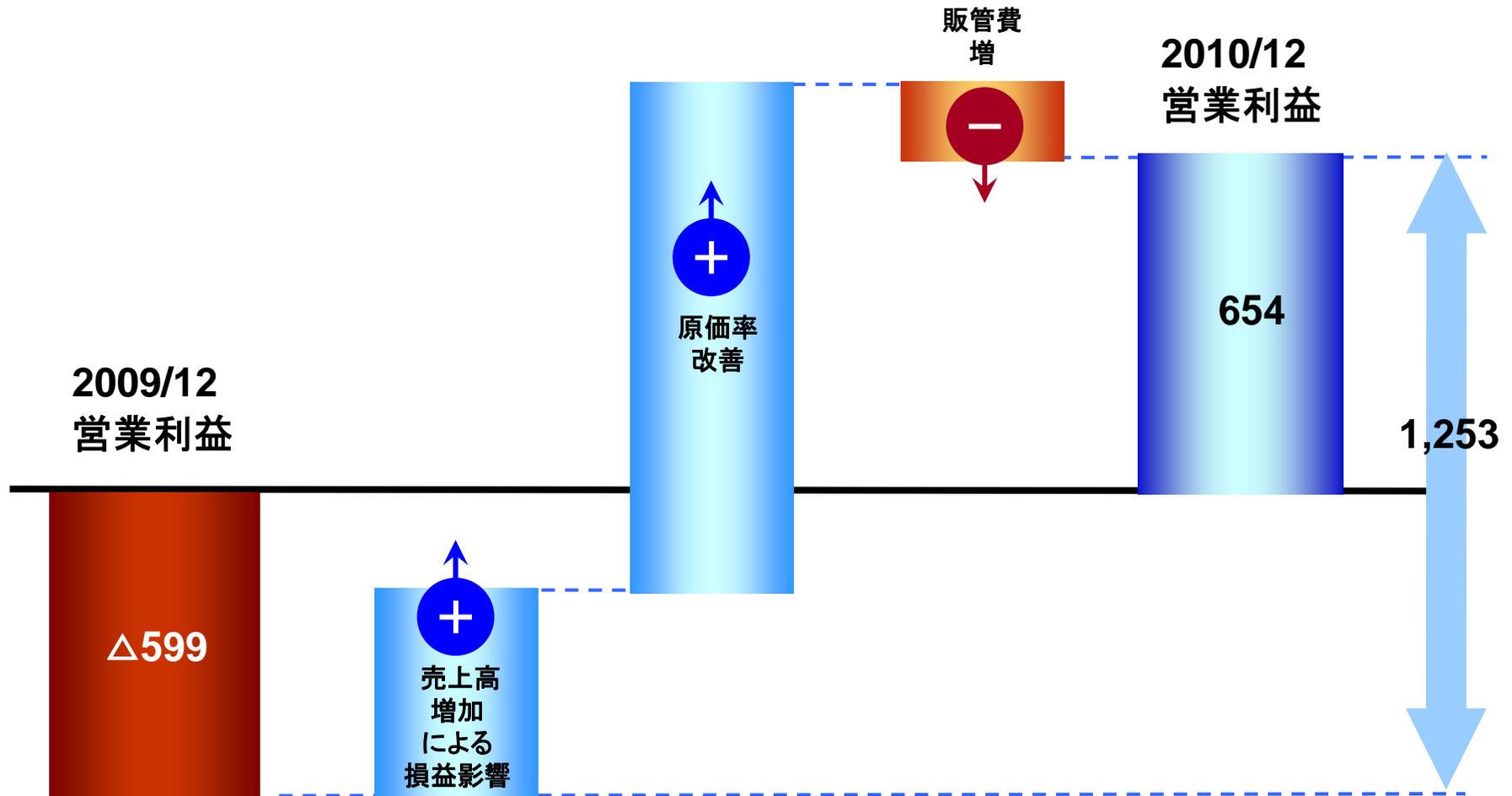
1株あたり10円



1株あたり15円

I 決算状況 営業利益の増減要因分析

(単位:百万円)



I 決算状況

事業部門別実績 連結売上高

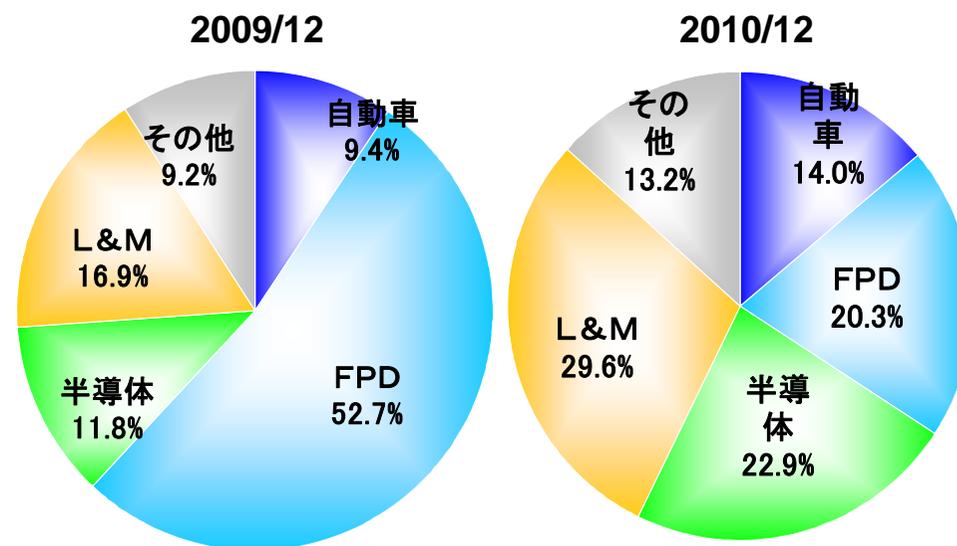
■ FPD関連は減収となったが、自動車関連、半導体関連、L&M関連は大幅に増収。

- ・ 自動車関連設備は、北米メーカー向けの複数の大型案件の売上により増収(+73.0%)
- ・ FPD関連設備は、国内向けの売上が低調であったことに加え、海外案件受注の遅れなどにより減収(△55.2%)
- ・ 半導体関連設備は、市場の回復に加え、大型の製造受託案件の売上計上により大幅に増収(+125.1%)
- ・ L&M関連設備は、タイヤ関連や家電関連が堅調に推移し、大幅に増収(+103.1%)

事業部門別売上高の状況

単位:百万円

事業部門	2009/12	2010/12	対前年同期比 増減率
自動車	2,097	3,628	+73.0%
FPD	11,730	5,256	△55.2%
半導体	2,626	5,912	+125.1%
L & M	3,759	7,635	+103.1%
その他	2,062	3,414	+65.6%
合計	22,275	25,847	+16.0%



I 決算状況 事業部門別実績 連結受注高

■ 全ての事業分野とも大型案件の受注等により好調を維持し、大幅に増加。

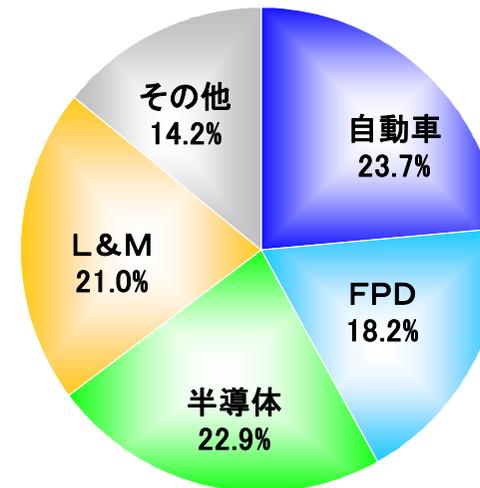
- ・ 自動車関連設備は、北米メーカー向けの大型案件およびアジア向け案件などにより大幅増加（+133.2%）
- ・ FPD関連設備は、中国向けの大型案件等により大幅増加（+274.6%）
- ・ 半導体関連設備は、引き続き大型の製造受託案件を受注したことなどにより大幅増加（+191.9%）
- ・ L&M関連設備は、家電関連、タイヤ関連などが引き続き好調のため大幅増加（+145.1%）

事業部門別受注高の状況

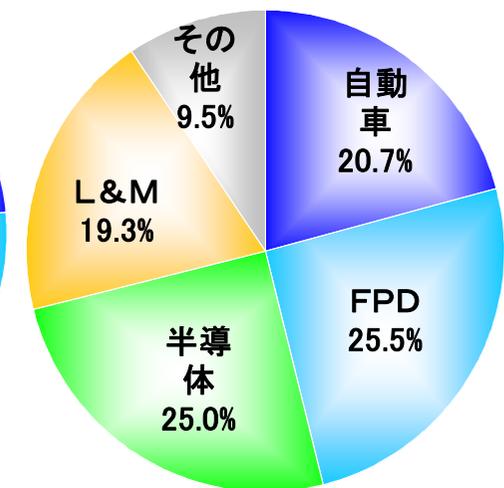
単位：百万円

事業部門	2009/12	2010/12	対前年同期比 増減率
自動車	3,389	7,905	+133.2%
FPD	2,601	9,743	+274.6%
半導体	3,266	9,536	+191.9%
L&M	3,006	7,368	+145.1%
その他	2,030	3,640	+79.3%
合計	14,294	38,194	+167.2%

2009/12



2010/12

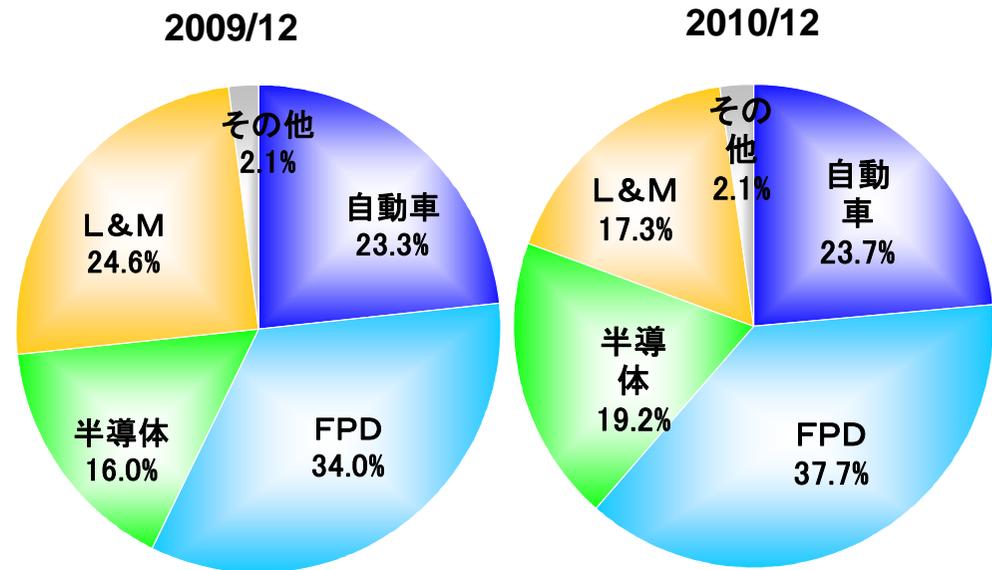


■受注高の大幅な増加に伴い、全ての事業部門とも増加。

事業部門別受注残高の状況

単位:百万円

事業部門	2009/12	2010/12	対前年同期比 増減率
自動車	2,873	6,361	+121.4%
FPD	4,193	10,122	+141.4%
半導体	1,979	5,165	+161.0%
L & M	3,039	4,653	+53.1%
その他	254	561	+120.6%
合計	12,340	26,864	+117.7%



II 市場動向および 2011年3月期業績の見通し

II 事業環境

北米自動車メーカーの復活や半導体市場の回復を背景として、世界的に設備投資の拡大が期待される。

自動車関連事業

国内では、エコカー補助金制度の終了後、事業環境は不透明な状況が続いているが、米国及び中国市場等は好調であり、設備投資の拡大が期待される。

FPD関連事業

国内ではテレビの地デジ化に伴う需要が一巡し、製品価格の下落に伴うメーカーの設備投資意欲の減退も懸念される。世界市場ではタブレット端末、スマートフォン向けの中小型パネル需要増による市場の高成長が続くものと期待される。

半導体関連事業

タブレット端末、スマートフォンなど電子デバイスの成長により半導体需要は堅調に推移する見込みであり、半導体製造装置メーカーの設備投資も期待できる。

L&M関連事業

家電関連は引き続き、新興国需要が増加するものと見込まれる。タイヤ関連は、国内市場は今期なみの水準で推移するものの、自動車販売が好調な米国、中国などでも更なる需要増加が期待される。

太陽電池関連事業

国内では余剰電力の買取制度などによって需要が拡大しており、欧米各国でも同様に補助政策により需要増加が見込まれている。

Ⅲ 市場動向および2011年3月期業績の見通し

業績予想

※2月10日に業績予想の修正を発表しました。

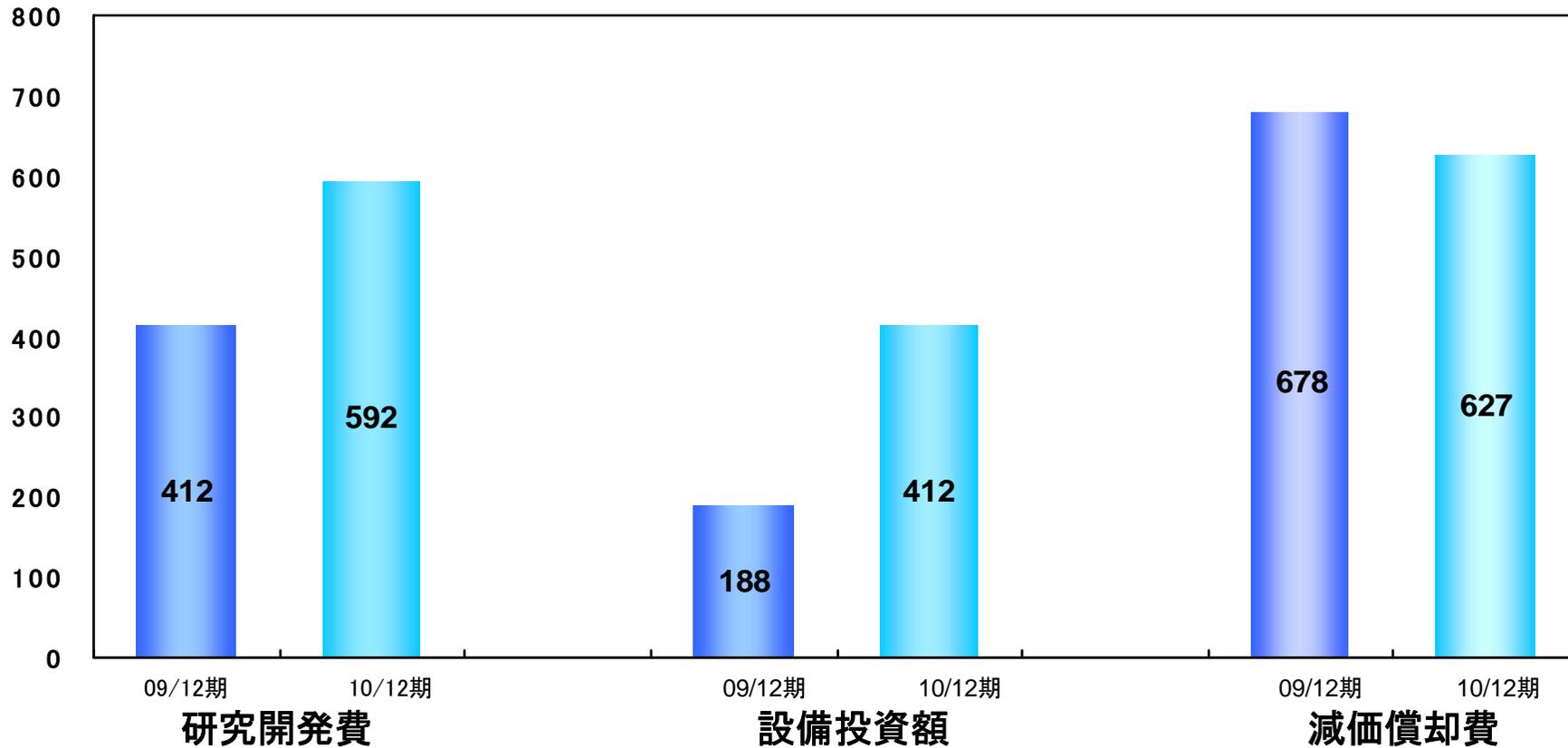
(単位:百万円)

	2010年3月期 実績	2011年3月期			
		上期	下期	通期	前期比 増減率
売上高	33,455	14,822	28,177	43,000	+28.5%
自動車関連	4,240	1,264	5,535	6,800	+60.4%
FPD関連	14,520	2,223	6,576	8,800	△39.4%
半導体関連	4,431	3,016	8,283	11,300	+155.0%
L&M関連	7,322	6,095	5,204	11,300	+54.3%
その他	2,941	2,222	2,577	4,800	+63.2%
営業利益(率)	364(1.1)	137(0.9)	862(3.1)	1,000(2.3)	+174.5%
経常利益(率)	180(0.5)	54(0.4)	745(2.6)	800(1.9)	+342.0%
当期純利益(率)	43(0.1)	398(2.7)	201(0.7)	600(1.4)	—

IV 参考資料

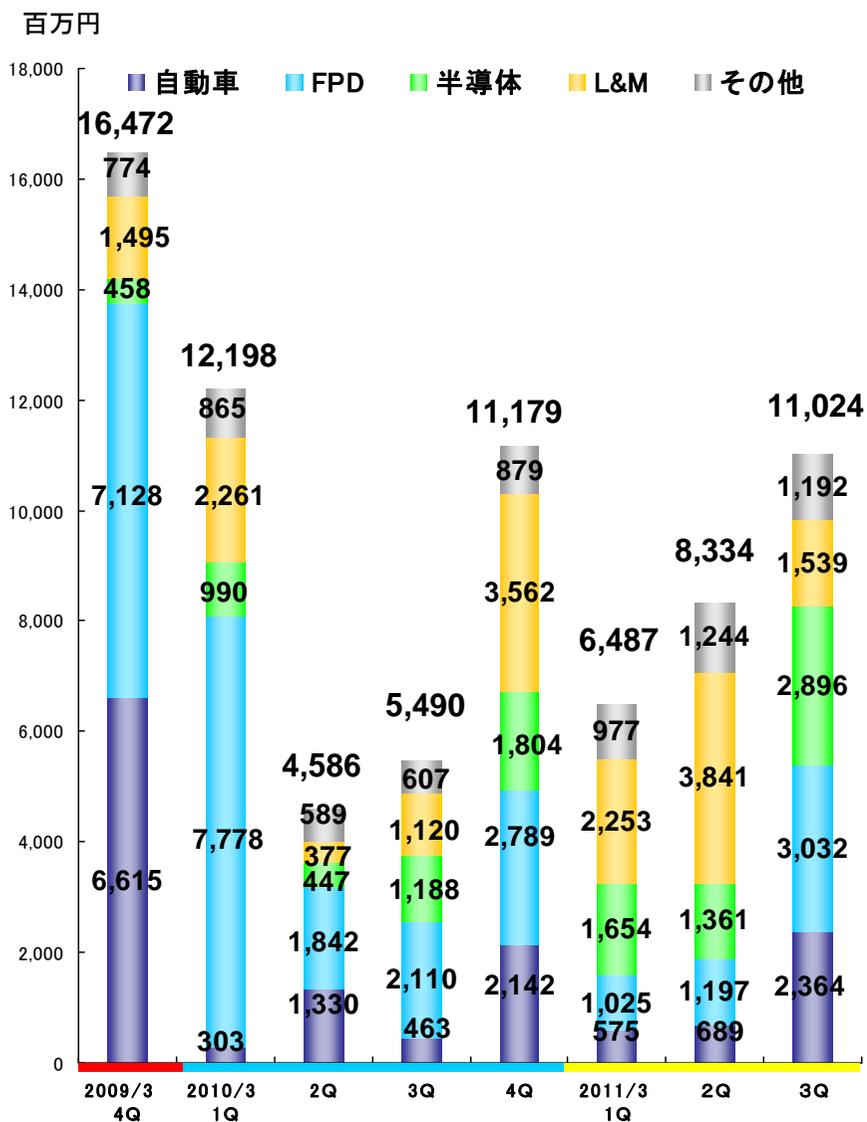
2011年3月期 第3四半期（2010年12月31日）

百万円

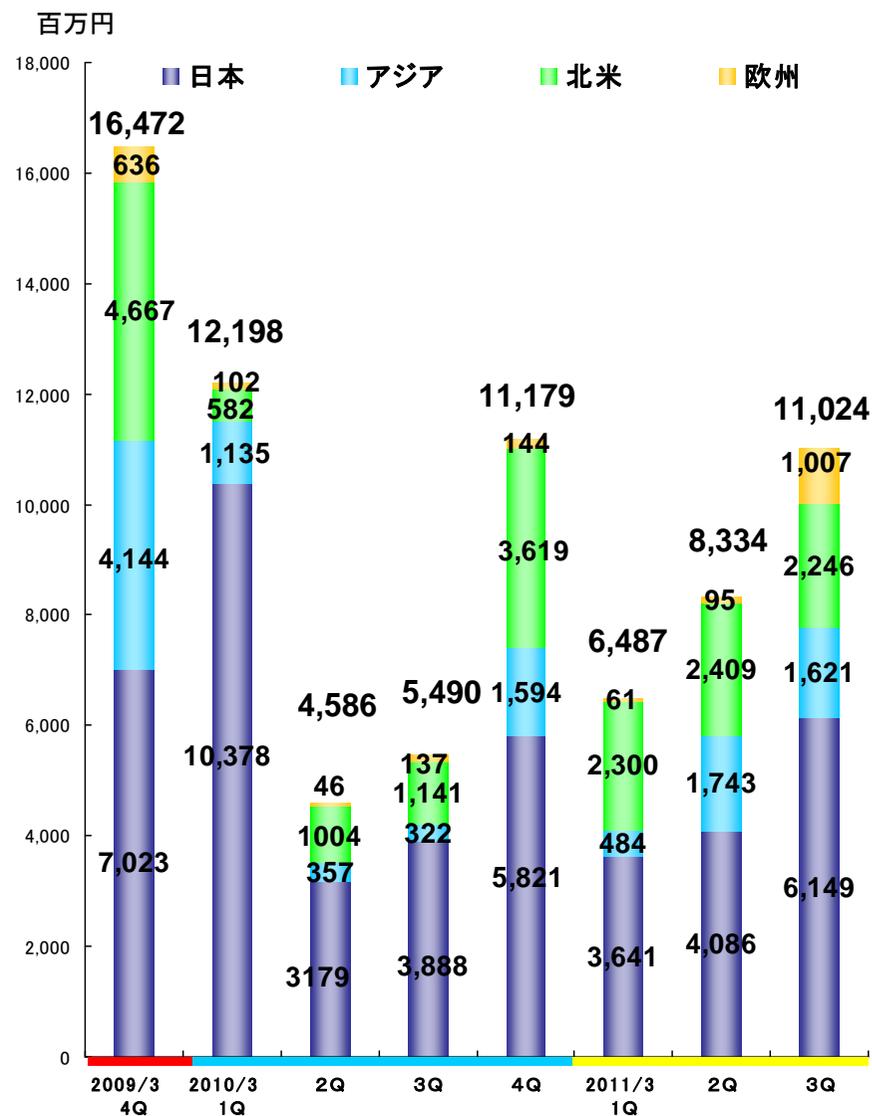


IV 参考資料 事業部門別・地域別四半期推移(売上高)

事業部門別四半期売上高の推移

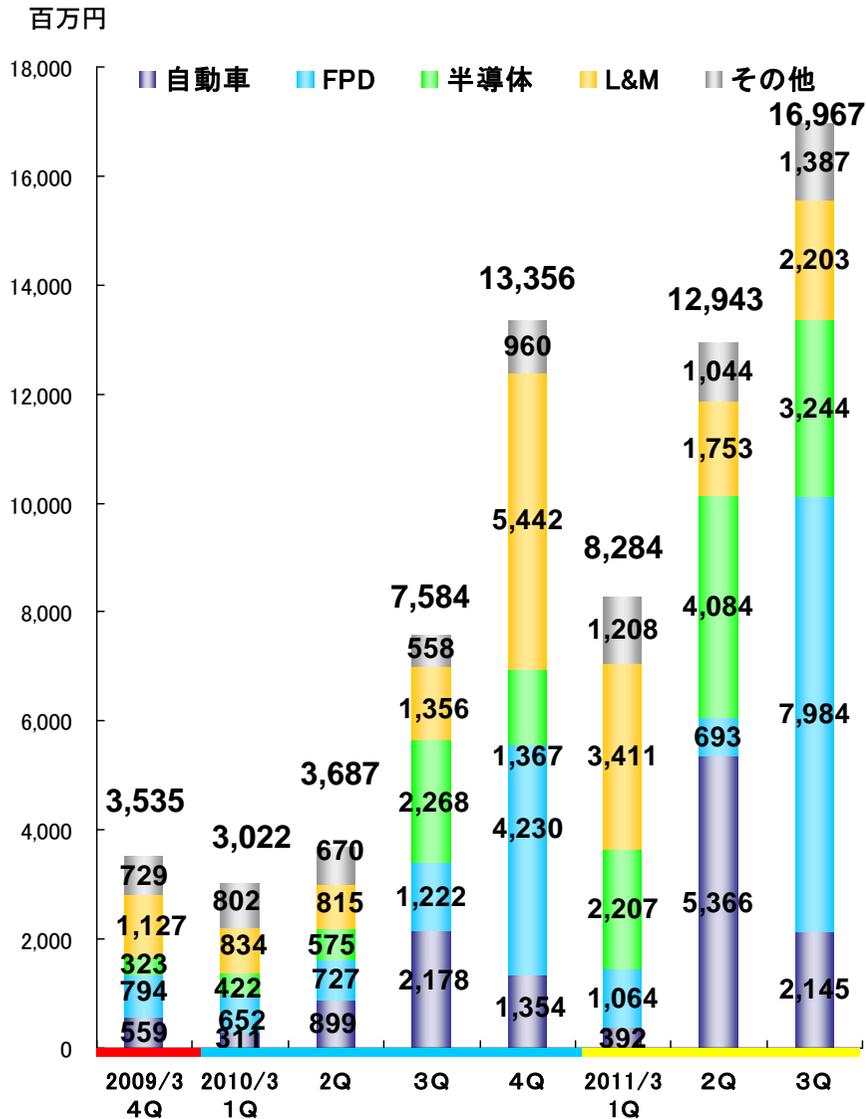


地域別四半期売上高の推移

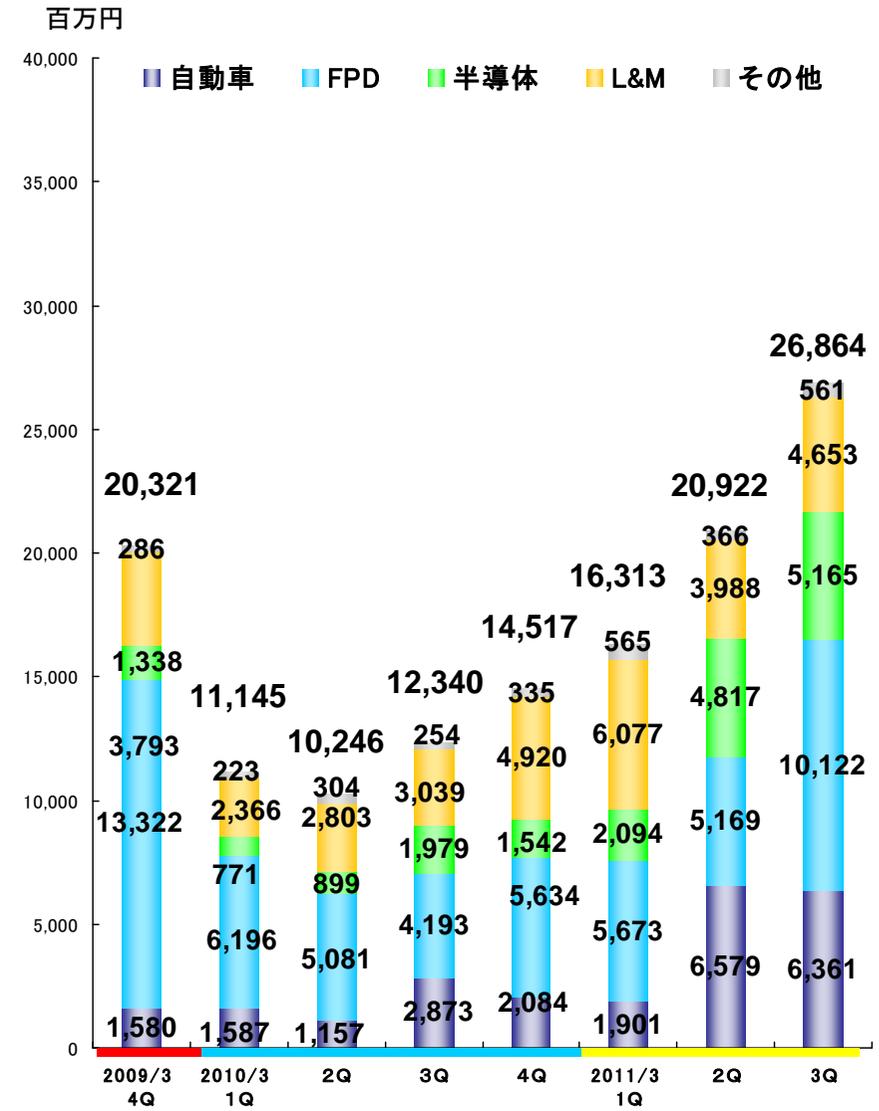


IV 参考資料 事業部門別四半期推移(受注高・受注残高)

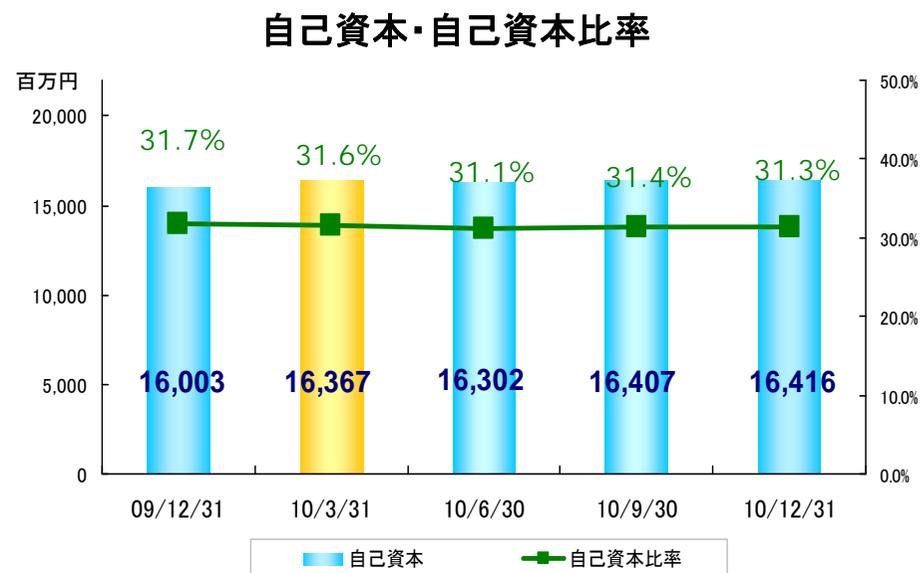
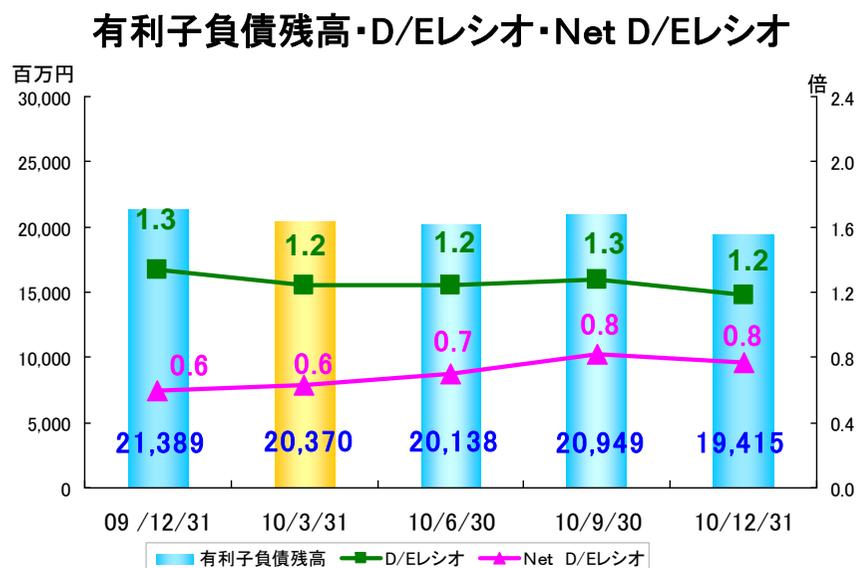
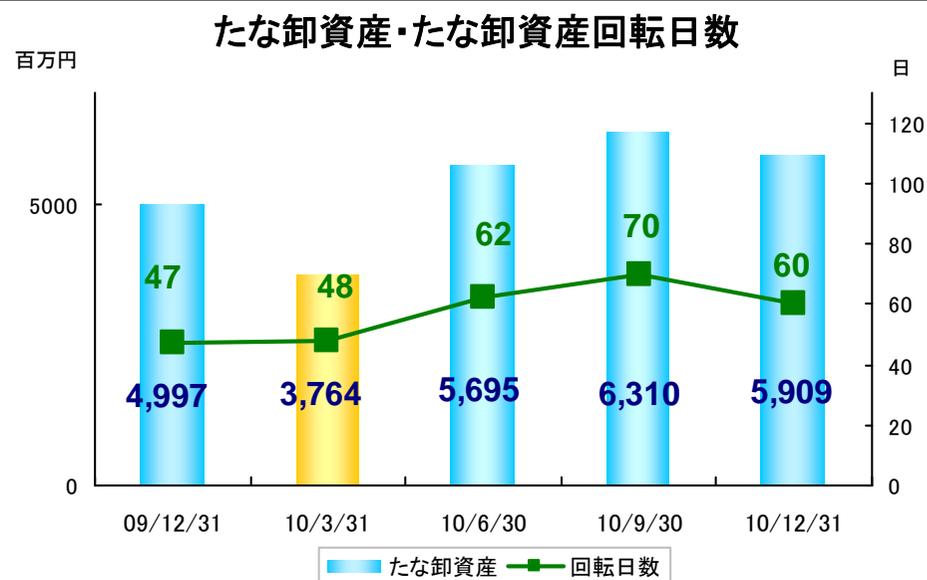
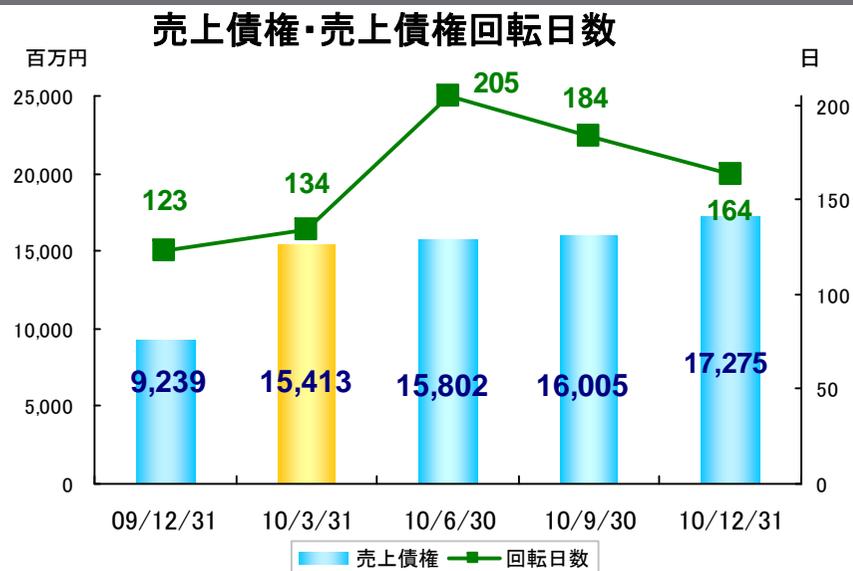
事業部門別四半期受注高の推移



事業部門別四半期受注残高の推移



IV 参考資料 主要指標



注) 売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期の期中平均値にて算出しております。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。